

特 別 活 動

1 生徒会活動の内容

(1) 学校生活の充実や改善向上を図る活動

この項目にかかわって行われる諸活動は、学校生活の一層の充実を図ろうとする生徒の自主性、自発性を可能な限り尊重し、生徒に自主的、実践的な生活態度を身に付けさせる上で重要な役割を果たすものであり、具体的な活動としては、次のような例が考えられる。

【具体的な活動及び具体例】

活 動	具 体 例
ア 学校生活における規律とよき校風の確立のための活動	○校内美化運動や緑化運動の実施
イ 環境の保全や美化のための活動	○資源やゴミ問題への課題意識の涵養
ウ 生徒の教養や情操のための活動	○学校新聞や生徒会誌の編集・発行
エ 好ましい人間関係を深めるための活動	○読書会や音楽鑑賞会、各種の文化的な発表会、地域行事等の紹介
オ 身近な問題の解決を図るための活動	○新入生を迎える会や卒業生を送る会の実施
	○校内球技大会やレクリエーションなどの行事にかかわる活動の実施
	○生徒会新聞などを活用した幅広い意見の収集や身近な校内生活に関するテーマに基づく討論会やHR討議の実施

(2) 生徒の諸活動についての連絡調整に関する活動

この項目にかかわって行われる諸活動は、全生徒を会員とする生徒会組織において、生徒の学校生活全体にわたっての充実や改善・向上を進めるための、学校内の様々な生徒の活動についての連絡調整に関する活動の充実を図る上で重要な役割を果たすものであり、具体的な活動としては、次のような例が考えられる。

【具体的な活動例】

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○生徒会の行事とのかかわりにおける各HRとの連絡調整 ○放課後等に行われる生徒の自発的、自治的な活動としての部活動などの年間を通じた活動の計画の調整 ○利用する施設設備、活動の時間の調整 ○予算の編成 |
|---|

(3) 学校行事への協力に関する活動

この項目にかかわって行われる諸活動は、学校行事の一層の充実や、愛校心の育成、学校への所属感、生徒相互の連帯感の醸成を図る上で重要な役割を果たすものであり、生徒会の充実と活性化、よりよい校風の確立や学校の伝統の継承、発展などを進めるために効果的な活動である。

(4) ボランティア活動など社会参加等に関する活動

この項目にかかわって行われる諸活動は、生徒が社会の一員であるということの自覚を深め、社会の中で共に生きる豊かな人間性を養うとともに、自己実現に向かって人生を切り拓く力を育む上で重要な役割を果たすものであり、具体的な活動としては、次のような例が考えられる。

【具体的な活動例】

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○生徒会の呼びかけなどによるボランティア活動（地域の福祉施設や社会教育施設等での様々なボランティア活動など） ○有意義な社会的活動への参加・協力（地域の文化・スポーツ行事、防災や交通安全、国際交流など） ○学校間交流や幼児、高齢者、障害のある人々との交流 |
|---|

2 指導展開例

(1) 学校生活の充実や改善向上を図る活動の指導展開例

活動名 「生徒会活動による学校生活の充実・改善に関する活動」		
I 活動の目標 生徒会とPTAが学校生活における身近なテーマについて、意見を交換し、互いの立場を理解し合うとともに、PTAの協力を得て、生徒会が中心となって生徒の課題解決に努めるなど、生徒が自発的、自治的に活動する態度や能力を高める。		
II 活動の概要 ・生徒会とPTAが毎年テーマを決めて話し合う。 ・テーマは、生徒会が提案する。 ・話し合いの結果を受け、生徒会が中心となり、課題等の解決を図るための具体的な活動を行う。		
III 全体計画 1 第1回話し合いのためのテーマ等のアンケート調査の実施と集計（5月） 2 生徒会によるテーマ案の提示と各ホームルームでの検討→検討結果の集約→テーマ決定（6月中旬） 3 PTAへのテーマ連絡（6月下旬）及びテーマに関する生徒会執行部とPTA役員会との打合せ（生徒会10名、PTA12名） （①7月中旬に実施予定。②今回は、学校祭期間中に実施し、一般に公開。この2点を中心に打合せ。） 4 学校祭当日の話し合いー生徒代表、PTA代表、会場参加者による公開討論会 5 「生徒会だより」で話し合いの結果を全校生徒に周知（8月）		
IV 到達目標 (生徒会リーダー) ・生徒会リーダーとしての自覚を持ち、他の生徒の意見を尊重しながら、積極的に発言し、相手にわかりやすく説明できる。 (一般生徒) ・自分の役割を理解し、他の生徒と協力して、的確に行動できる。		
V 展開		
活動内容	指導上の配慮事項等	評価の観点/評価方法等
1 アンケート調査実施 ・全校生徒に調査	・活動の趣旨を生徒会役員が十分理解できるよう配慮する。 ・全校生徒の意見を聴取できるようアンケート項目やアンケート実施の方法について指導する。	※活動の特性から、生徒会リーダーについてのみ、評価の観点を示す。
2 テーマ案決定 (1) アンケート集計結果を基に生徒会案を決定 (2) 各HRで検討 事前にHR代表者会議で、検討事項を説明 (3) テーマ決定 学年に共通するテーマを設定 「校則見直し」「通学マナー」「町の行事への生徒会の参加」 (4) 話し合いの流れを協議	・活動の目標に沿ったテーマとなるよう、公平性のある内容や各学年の特質を考慮することを指導する。 ・「HR代表者会議」で活動の目標を十分説明し、各ホームルーム代表者の自覚と自発性を促すよう指導する。 ・十分に協議させ、生徒会役員の自発的態度や能力を高めるよう支援する。 ・協議の内容にずれが生じないように指導・助言する。	【関心・意欲・態度】 ・他の人の意見に関心をもち、メモなどをとりながら話を聞いているか。 ・積極的に自分の責任を果たそうとしているか。
3 PTA代表者との打合せ決定の経緯と趣旨を説明 ・当日の打ち合わせ	・PTA関係者には、テーマの趣旨や生徒の計画を十分に理解してもらうよう支援する。 ・当日の活動前に各生徒にこれまでの活動について、自己評価させ、今後の活動意欲を高める。 ・生徒間で一人一人の役割分担を確認させ、自覚と責任をもたせる。 ・進行要領を、PTA関係者と事前に打合せ、司会者への協力を依頼する。	【思考・判断】 ・問題解決のために具体的な方法を考えるとともに、よりよい活動にするために自分の果たすべき役割を認識しているか。
4 学校祭での話し合い ・公開討論会 ・生徒が司会 ・聴取者にアンケート実施 当日の話し合いテーマ ①「校則見直し」 ②「通学マナー」 ③「町の行事への生徒会の参加」 ・パネルディスカッションによる議論 ↓ ・生徒の考え方、親の考え方、学校の考え方をそれぞれ整理し、「できること・できないこと」「やるべきこと・してはいけないこと」などについての認識を深め、課題を整理する ↓ ・会場の参加者も含めて、公開討議を行い、解決策を探る	・各係が自主的に進行状況を確認し、活動を成功させようとする意欲を喚起する。 ・具体的な方策について、学校関係者、保護者、地域の方々も含めて、今後、代表者会議で検討を進め、よりよい解決策を検討するよう、意欲を喚起する。	【技能・表現】 ・自分の意見を論理的に説明し、他人の意見を尊重しながら、調整しようとしているか。 【知識・理解】 ・活動を円滑に行うためのルールや手順を理解し、自分のやるべきことを正しく理解しているか。
5 結果を全校生徒に周知 ・「生徒会だより」発行	・活動成果の周知方法を協議させる。 ・学校祭までの活動全般に関する自己評価を実施する。	
6 今後の活動実施計画案検討 ・各ホームルーム及びPTA代表者、地域関係機関に案を提示し、検討	・PTAや関係機関には、代表者を通じ、今後の活動や方向性を連絡するとともに、今後の活動方針に関する協力を依頼するよう指導する。 ・生徒の活動計画を尊重しながら、学校、PTA、関係機関の間の連絡調整の必要性などについて指導・助言する。	

(2) 生徒の諸活動についての連絡調整に関する活動の指導展開例

活動名 「生徒会による校内のゴミ分別処理化の取組における連絡調整に関する活動」		
I 活動の目標 生徒会活動の連絡調整機能が発揮されることを通じて、校内のゴミ分別処理化の取組を円滑に進めるとともに、生徒一人一人に生徒会の一員としての自覚を促し、生徒会活動に対する生徒の関心・意欲を高める。		
II 活動の概要 ・「生徒会執行部」（生徒会リーダー）と各ホームルームとの連絡調整に関する活動 ・「環境美化委員会」等の各種委員会活動に伴う連絡調整に関する活動 ・「生徒総会」や「生徒評議会」等の審議機関の運営に伴う連絡調整に関する活動		
III 全体計画 1 校内のゴミ分別処理化に関するアンケート調査の実施 2 「校内のゴミ分別処理化（案）」の作成 3 「生徒会執行部」での「校内のゴミ分別処理化（案）」の検討 4 「生徒評議会」での「校内のゴミ分別処理化（案）」の提案 5 各ホームルームでの「校内のゴミ分別処理化（案）」の討議 6 「生徒総会」での「校内のゴミ分別処理化（案）」の審議及び議決 7 全校生徒へのゴミ分別処理実施についての周知		<p style="text-align: center;">＜生徒会組織図＞</p>
IV 到達目標 〈生徒会リーダー〉 ・生徒会リーダーとしての自覚を持ち、校内のゴミ分別処理化の取組を円滑に進めるため、適切に関係者間の連絡調整を行うことができる。 〈一般生徒〉 ・生徒会の一員としての自覚を持ち、校内のゴミ分別処理化の取組を通じて、生徒会活動に対する関心・意欲が一層高まる。		
V 展開		
活動内容	指導上の配慮事項等	評価の観点／評価方法等
1 「環境美化委員会」が中心となって、全校生徒に対し、校内のゴミ分別処理化に関するアンケート調査を実施する。 ①アンケート用紙の作成 ②アンケート調査の実施 ③アンケート調査結果の集計及び分析 * 「環境美化委員会」と「生徒会執行部」との連絡調整 * 「環境美化委員会」と各ホームルームとの連絡調整	・アンケート用紙の作成にあたっては、必要に応じて、質問項目の設定等に「生徒会執行部」の意見を取り入れるよう助言する。 ・アンケート調査は各ホームルームごとにSHR等を利用して実施することとし、事前に「環境美化委員」がホームルーム担任及び「ホームルーム代表」等と調査の実施について打合せを行うよう指示する。 ・アンケート調査の実施にあたっては、各ホームルームにおいて、「環境美化委員」が調査の趣旨等について十分に説明するよう指導する。	※活動の特性から、生徒会リーダーについてのみ、評価の観点を示す。 【関心・意欲・態度】 ・校内のゴミ分別処理化の取組を円滑に進めるため、積極的に連絡調整に当たろうとしているか。 ○教師の観察による評価
2 アンケート調査の結果を参考として「環境美化委員会」が「校内のゴミ分別処理化（案）」を作成する。 * 「環境美化委員会」と「生徒会執行部」との連絡調整	・学校の「保健衛生部」や「事務部」のゴミ処理についての意向を伝えるとともに、アンケート調査の結果や学校所在の自治体におけるゴミ処理の状況等を参考として「校内のゴミ分別処理化（案）」を作成するよう指導する。	【思考・判断】 ・取組の各場面で、どのように連絡調整するのが効果的か考えることができるか。 ○教師の観察による評価
3 「生徒会執行部」で「校内のゴミ分別処理化（案）」を検討する。 * 「生徒会執行部」と「環境美化委員会」との連絡調整	・「生徒会執行部」と「環境美化委員会」との連携を密にし、「校内のゴミ分別処理化（案）」が生徒会活動として有意義な活動内容となるよう助言する。	○教師の観察による評価
4 「生徒評議会」において「校内のゴミ分別処理化（案）」を提案する。 * 「生徒評議会」の運営に伴う連絡調整	・「校内のゴミ分別処理化（案）」の提案理由を「評議員」に分かりやすく説明するよう指導する。	【技能・表現】 ・取組の各場面で、状況に応じて適切に関係者間の連絡調整ができるか。 ○教師の観察による評価
5 各ホームルームにおいて「校内のゴミ分別処理化（案）」について討議する。 * 「生徒会執行部」と各ホームルームとの連絡調整	・ホームルーム討議はLHRの時間に行い、事前に「環境美化委員」がホームルーム担任及び「ホームルーム代表」等と討議の進め方について打合せを行うよう指示する。	○教師の観察による評価
6 「生徒総会」において「校内のゴミ分別処理化（案）」について審議し、議決する。 * 「生徒総会」の運営に伴う連絡調整	・「生徒会執行部」と「ホームルーム代表」等との連携を密にし、各ホームルームから事前に「質問通告書」を提出させるなどの工夫をして審議の充実を図るよう助言する。	【知識・理解】 ・状況に応じた連絡調整の在り方を知っているか。 ○教師の観察による評価
7 全校生徒に対して、ゴミ分別処理の実施内容について周知する。 ①「生徒会通信」や「環境美化だより」等による啓発 ②「環境美化委員」による実施要領の説明 * 「生徒会執行部」と「環境美化委員会」との連絡調整 * 「生徒会執行部」と各ホームルームとの連絡調整 * 「環境美化委員会」と各ホームルームとの連絡調整	・ゴミ分別処理の開始に際し、実施要領を作成するとともに、周知期間を設定するなどして、全校生徒に具体的な取組を十分に浸透させるよう指導する。 ・「生徒会執行部」及び「環境美化委員会」と各ホームルームとの連携を密にし、ゴミ分別処理の取組を通じて、生徒会活動に対する生徒の関心・意欲を高めることに配慮するよう助言する。	○教師の観察による評価

(3) ボランティア活動など社会参加に関する活動の指導展開例

活動名		生徒会主催の「〇〇高いきいきボランティア月間」の取組	
I 活動の目標			
様々なボランティア活動を通して、地域の人々などとのより広い範囲にわたる交流を行い、集団や社会の一員であるということの自覚を深めるとともに、生徒会活動に自主的・自発的に参加する態度を養う。			
II 活動の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・「生徒会執行部」及び「ボランティア委員会」による具体的な活動計画の企画・立案 ・全校生徒による自主的・自発的なボランティア活動の実施 ・ボランティア活動終了後の「ボランティアだより」の発行、報告会の実施 			
III 全体計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1 「生徒会執行部」及び「ボランティア委員会」による具体的な活動計画の企画・立案 2 各ホームルームでの原案討議、議決 3 チラシやポスターの作成、参加者集約 4 実施要領、「ボランティアカード（手引、自己評価シート）」の作成、説明会の実施 5 「〇〇高いきいきボランティア月間」の実施 6 「ボランティアだより」の作成、全校生徒、保護者、関係機関職員、教職員を対象にした報告会の実施 			
IV 到達目標			
<p>（生徒会リーダー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会リーダーとしての自覚を持ち、活動の意義と内容を十分に理解するとともに、資料等に基づいて適切な説明を行い、参加生徒の意識の高揚を図ることができる。 ・活動の進捗状況を把握し、活動が円滑に行われるよう進行できる。 <p>（一般生徒）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の意義と内容を十分に理解するとともに、積極的に協力しあってボランティア活動を行うことができる。 ・自らを客観的に見つめ、向上への積極的な態度を持つことができる。 			
V 展開			
活動内容	指導上の配慮事項等	評価の観点／評価方法等	
1 「生徒会執行部」及び「ボランティア委員会」が「〇〇高いきいきボランティア月間実施（案）」を企画・立案する。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の意義や目的についての理解が十分なされるよう配慮する。 ・活動の企画に当たっては、社会福祉協議会を窓口として、町内会、老人クラブ、NPO等との連携を図るよう指導する。 	※活動の特性から、生徒会リーダーについてのみ、評価の観点を示す。	
2 各ホームルームにおいて「〇〇高いきいきボランティア月間実施（案）」を討議し、議決する。（LHR）	・「ボランティア委員」が活動の意義や目的を共通理解して適切に説明できるように指導する。	【関心・意欲・態度】 ・積極的に自己の役割を果たそうとしているか。	
3 「ボランティア委員会」が、チラシやポスターの作成による啓発活動を行い、活動ごとに参加者を集約する。	・チラシやポスターを有効に活用させるとともに、生徒の自主性や積極性を引き出せるよう配慮する。	○教師の観察による評価	
4 「生徒会執行部」及び「ボランティア委員会」が活動ごとに参加者を集め、実施要領や留意事項を説明する。その際、「実施の手引」と「自己評価シート」からなる「ボランティアカード」を配布する。（LHR）	・実施要領の作成に当たっては受入施設の担当者等との打合せを密にしてプランを練るとともに、手引を作成し、事前の説明を十分に行うよう指導する。		
5 「〇〇高いきいきボランティア月間」を実施する。 ①交流的活動 ・老人ホーム訪問（入居老人との交流、清掃） ・保育所訪問（保育士体験、読み聞かせ） ・養護学校訪問（交流、補助） ②勤労・奉仕的活動 ・花壇整備 ・駅舎清掃 ③地域行事への参加 ・町民マラソン大会の補助役員 ④啓発・広報的活動 ・ネパール小学校建設支援（街頭募金、アルミ缶、使用済みテレカ・切手・書き損じはがきの回収）	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動中のマナーについて十分に指導する。 ・①及び②については、生徒会行事として2日間（午後）、「全校ボランティアデー」を設定し、生徒が2種類の活動を選択して実施できるように指導する。 ・③については、補助役員以外にマラソン大会への一般参加も呼びかける。 ・④については、回収箱等を設置し、街頭募金以外は昼休みに活動するよう指導する。 ・活動終了後に、「ボランティアカード」の「自己評価シート」の記入をさせ、振り返りができるように指導する。 ・「ボランティアだより」の作成や報告会に備え、デジタルカメラやビデオを活用して記録するよう助言する。 	【思考・判断】 ・多様な場面に応じた、効果的なボランティア活動の進め方について考えることができているか。 ○教師の観察による評価	
6 「ボランティアカード」の回収、参加者アンケート・感想文の集約、「ボランティアだより」の作成を行い、報告会を実施する。参加者の「ボランティアバンク」への登録を促す。	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションなど、効果的な発表となるよう指導する。 ・自分自身の考えや思いが残り生徒の成長の足跡となるよう助言する。 ・自主的・自発的なボランティア活動を日常的に行う意欲を高めるよう指導する。 	【技能・表現】 ・互いの意見を調整しながら、活動を円滑に進行させることができているか。 ○教師の観察による評価 ○生徒の自己評価	
		【知識・理解】 ・ボランティア活動の意義や充実のための方策を理解しているか。 ○教師の観察による評価	